

No. 2-4

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 02 - 4

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日		30年 6月 29日			
事務事業名		鉄道事業費				シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち				課名	政策課		係名	政策係	
		1-2 住みやすいまちをつくる					シート作成者				
	施策	1-2-2 道路・公共交通網の整備				予算費目	会計		一般		
							款		2		
主要施策	④ 公共交通機関の充実				項		1				
					目		12				
個別計画名											
住民との関わり		施策・事業の企画段階からの住民参与									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）						
	通勤・通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者				通勤・通学者と障がい者等の交通弱者が、公共交通としての鉄道を利用して、移動ができています。						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）										
<ul style="list-style-type: none"> ・北勢線事業運営協議会の設置 ・北勢線事業運営維持費への補助 ・三岐線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への補助 ・三岐線鉄道施設安全対策事業への補助 											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 14年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等		北勢線事業運営協議会規約 東員町三岐鉄道北勢線事業運営維持費補助金交付要綱									
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		51,350		47,636		50,701					
財源内訳	国庫支出金		0		0		0				
	県支出金		0		0		0				
	地方債		0		0		0				
	その他特定財源		70		70		70				
	一般財源		51,280		47,566		46,011				
直接事業費（千円）A		51,350		47,636		46,081					
人件費（千円）B		0		0		4,620					
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.70 人 4,620		0		
	臨時職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.00 人 0		0		
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度			
					目標		実績	（目標）			
	①	北勢線利用者数		人	↑	2,558,830	↑	↑			
	②	◆公共交通機関（三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス）の利便さについての満足度		%	次回満足度アンケート調査で把握		↑	↑			
③											
説明	<p>利用者数は三岐鉄道北勢線月別乗車人員資料から把握する。利用者増により営業の黒字化を目指す。平成28年度実績2,572,752人 平成29年度は、14,022人減少した。</p> <p>特別交付税算入額 (H24...0、H25...3,449、H26...1,556、H27...1,738、H28...3,046、H29...3,977)（千円）</p> <p>◆は平成27年度にアンケートを実施した H27（29.3%）。 次回は平成32年度実施予定。</p>										

事業名	鉄道事業費	シート作成課	政策課
-----	-------	--------	-----

一次評価者	政策課長	二次評価者	総務部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	北勢線は、沿線住民の生活の足として、特に通勤、通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者にとって重要な移動手段です。	
有効性	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	北勢線の存続は、沿線市町の地域活性化にも大きく寄与するものと考えられます。	
達成度	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	平成29年度の乗客数は2,558,830人で、三岐鉄道が北勢線を運行開始した平成15年から過去最高の乗客数を記録した平成28年度と比較し、△0.5%とほぼ横ばいの状況でした。	
効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	三岐鉄道に2市1町が、北勢線運行に係る費用の支援を行っています。三岐鉄道の役割、市町行政の役割を明確にして取組む必要があります。	

本事務事業の実施適切性の説明

北勢線利用者数は平成28年度の実績に比べて、△0.5%の微減と概ね横ばいであり、沿線住民の生活の足として重要な移動手段の役割を担っています。今後も行政・三岐鉄道が一体となった取り組みが必要です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	2市1町と三岐鉄道で構成する北勢線事業運営協議会による利用促進の効果等で、乗客数は増加傾向ではあるが、三岐鉄道単独での運営には至っておらず、引き続き支援が必要です。また、車両の老朽化対策が課題であり計画的な運営が必要です。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	車両更新をはじめ、自動改札機などの設備投資と、北勢線運営に関する長期的な計画策定について、協議会で検討する必要があると考えます。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--